

し わ 紫波 ネット

SHIWA-NET
人と地域をつなぐ広報紙
No.905 2015

2

紫波ネット905号 平成27年2月12日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392 紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社
<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>



【表紙の写真】子育て支援ボランティアなかよしひろば(佐藤周子代表)の餅つき会が、赤石公民館で開かれました。冬休み中の小学生児童を含む80人の親子が参加し、冬の歌を歌ったりお餅を題材にした読み聞かせを聞いたりした後、実際に餅つきを体験。子どもたちは、その小さな体で児童用の杵を持ち上げ、少しよろけながらも、スタッフの掛け声に合わせて一生懸命に餅をつきました。



「うんしょ！」
きね
杵を担いで餅つき体験
(1月16日 子育て支援ボランティアなかよしひろば「餅つき会」)

特集

紫波の南部杜氏の 酒造り・人づくり

04

02 日本のため、地域のための頑張りを誓う
394人が成人

11 環のくに紫波

12 国体だより

14 健やかランド紫波

16 まちの話題

18 暮らしの情報

22 紫波冬まつり

24 シリーズ行ってみよう 訪ねてみよう紫波の達人



特集●紫波の南部杜氏の酒造り・人づくり



まちの話題●日詰公民館まつり



まちの話題●竹下佳江さんバレー教室



季節のphoto●五元日祭 裸参り

祝 成人

日本のため、地域のための 頑張りを誓う394人が成人



新成人代表の森田真理華さん

町の成人式は1月11日、サンビレッジ紫波で行われ、今年成人を迎えた394人（男性196人、女性198人）のうち318人が参加しました。好天に恵まれた会場には、送迎の車が列をなし、背筋の伸びたスーツ姿の男性たち、きらびやかな振り袖などに身を包んだ女性たちが続々と到着し、会場のいたるところで、友人たちとの再会に喜ぶ笑顔が見られました。

式典の中で熊谷町長は「20代は体力がみなぎる輝かしい世代。40代までの20年は、人生80年の時代において大事な時間。スマートホンやパソコンだけではなく、人の息づかいに触れ、風の音や匂いなど本物に触れてほしい。自分に投資し、失敗を恐れず、チャレンジしてください」と成人にメッセージを贈りました。

また、成人代表の森田真理華さん（長岡地区）は誓詞で、東日本大震災の復興に向けた歩みの中で「社会に貢献できる人間になるため、それぞれの道で行動を起こし、新たなものを創り出していかなければなりません。自分達の持つ力を発揮し、広い視野を持ち、岩手や日本のために役立てられるよう、一生懸命頑張っていきたいと思います」と成人の決意を述べました。

その後、紫波第一中学校の吹奏楽部員54人が『銀河鉄道999』などを演奏し、華やかな演奏と複雑に織りなす隊列行進によるマーチングで、先輩たちにお祝いのエールを送りました。



interview

古館地区



写真向かって左から

- だいでう みお
大道 未央さん 幸せになる!
- いつかいあやの
五日市彩乃さん 仕事で稼げるように頑張る!
- ふくだ ちさと
福田 知恵さん 貯金を頑張る!
- こいし
小石 雅さん 4月から仕事を頑張る!
- おおくぼ ゆい
大久保優衣さん 学生なので、勉強を頑張る!

日詰地区



さわふじ ゆうと
沢藤 優斗さん
大人の自覚を
持って、日々
躍進したいです。

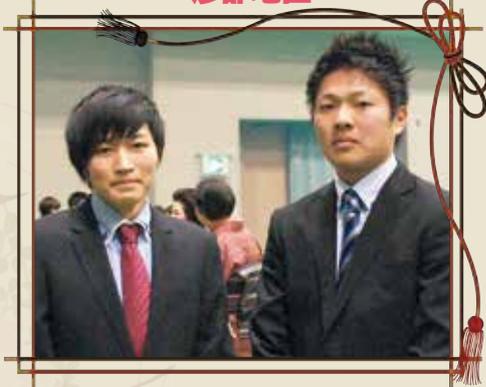
やまかげ ゆうた
山影 裕太さん
4月から社会人。
今までの経験を
生かして社会に
貢献したいです。

佐比内地区



かしわばら あやか
柏原 紋花さん
すてきな大人の女性に
なれるように頑張りたいです。

彦部地区



ほしもと こうすけ
橋本 康祐さん
就職活動に向けて、
準備を進めて
いきたいです。

ふじね としき
藤根 俊貴さん
大学で自転車競技を
やっているのので、
インカレ、国体を目指して
頑張りたいです。

上平沢地区



こんどう ゆい
近藤 結さん
友人たちとの再会に
懐かしさと、
親への感謝の気持ち
でいっぱいです。

たかのし のぞみ
鷹嘴 希美さん
春から社会人になり
ます。荒波にもまれ
ても頑張っていきたいです。



紫波の南部杜氏の 酒造り・人づくり

日本三大杜氏の1つとして全国に名をはせる「南部杜氏」。その源流が、紫波町にあることを皆さんはご存知でしょうか。昨年7月には、南部杜氏協会の前身である南部杜氏組合が創立してから100周年を迎えており、今冬も紫波町から100人以上が県内外の造り酒屋へ赴いています。

南部杜氏の歴史を、その起源から現在までたどってみると、1つの大きな課題が浮かび上がってきます。それは、伝統の技を継承する人材の育成が喫緊の課題だということです。現在の蔵人たちはなぜ酒造りに携わるようになったのか、どのような人が酒造りにふさわしい働き手なのか、紫波町出身の杜氏が働いている2つの蔵元を訪ねてお話を聞きました。

南部杜氏とは

江戸時代に南部藩の領内から出身した杜氏を「南部杜氏」と呼び、南部杜氏が伝えた酒造りの技術を南部流といいます。酒造りのプロ集団を率いるのが杜氏で、酒造りのあらゆる作業工程を知りつくしたプロ中のプロです。

優れた技術と温かい人情、そして誠実な人柄で、全国に知られる南部杜氏の発祥の地が、この紫波町なのです。

紫波町での歴史

なぜ、紫波町が発祥の地といわれているのか。『紫波町史』を中心とした参考文献をもとに、その歴史を探ってみました。



厳冬期に仕込みに入る杜氏が、醸造の安全を祈って神社に参拝したのが、裸参りの始まりだといわれています。

100周年を迎えた 南部杜氏協会



南部杜氏協会の母体となった「南部醸造法研究組合」が発足したのは、明治44年のこと。醸造店主の呼びかけによって生まれた組織で、杜氏講習会などを通じて酒造研究を主要な活動としていました。大正3年、杜氏をはじめとした蔵人従業員の自主的な研さんの場として「南部杜氏組合」が発足。昭和23年に「南部杜氏協会」へと発展しました。

昭和36年には、南部杜氏協会の会員数が約3500人となり、このうち紫波町出身者が1365人で最多数を数えました。その後、アルコール嗜好の多様化から日本酒の需要は減少していきませんが、南部杜氏の伝統の技は、今日まで変わることなく守り続けられています。

南部杜氏協会の大きな特長は、発足当初から技術の研さんのための講習会（夏季の酒造講習会）と技術評価のための鑑評会を続けてきたことです。講習会には毎年、全国各地から多くの杜氏や杜氏を目指している蔵人が集まり、酒造技術の知識を高めています。また、平成2年からは、主に県内の酒造りに関わる人たちを対象に「酒造大学」を開講しており、杜氏後継者の育成にも力を入れています。この講座は、酒造りの技術だけでなく、酒屋頭を唄ったり、杉玉を作ったりと酒蔵での伝統的なことも学べることができる人気の講座です。

平成26年5月31日現在、南部杜氏協会に所属する杜氏は、全国30都道府県で192人。北は北海道から、南は山口県まで、全国各地で南部流の酒造りを守り続けています。

▼南部杜氏の源流は志和村

今から330年ほど前の延宝6年(1678年)、志和村の近江商人村井権兵衛が大坂から杜氏を招いて酒造りを始めたことから、南部杜氏の歴史が動き出します。江戸時代初期には、町内でもすでに酒造りが行われていましたが、いわゆるどぶろく(もろみのままる過しない酒)だけだった酒造りに、大阪池田流の「すみ酒」の醸造技術を持ち込んだのが村井権兵衛でした。

村井権兵衛は延宝5年(1677年)、八戸藩庁に対して造酒屋と質屋の営業を願い出、12月に許可を受けます。同時に表口30間・裏口25間(※1)の屋敷地も下付されました。翌、延宝6年2月には建築に着手し、夏中に完成。9月には新酒も売り始め「志和近江屋」が誕生しました。以降、大正13年(1924年)に廃業するまで、権兵衛「酒屋」として親しまれました。



南部杜氏発祥の地の石碑

現在、かつての権兵衛酒屋の地所近くにある岩手中央農協旧上平沢出張所跡地には、南部杜氏発祥の地の石碑が建立されています。

▼引酒屋の杜氏が伝えた技術

江戸時代、造酒営業権としての造酒

株を所有する造り酒屋は、造酒株を持たないものに対して醸造を委託することが認められていました。この下請酒屋が「引酒屋」です。

志和近江屋においても、酒造石高(※2)の3〜4割が委託醸造されていたと考えられるため、傘下には十数件もの引酒屋が存在していたと思われます。これらの引酒屋には、近江屋と同等レベルの品質の酒を造ることが求められたため、杜氏技術も同じくらいに高度でなければなりません。そのため、各引酒屋には、近江屋専属の杜氏が巡回して技術指導をしていたと考えられています。

このようにして、高度な酒造技術を引き継いだ引酒屋の杜氏が、後の出稼ぎ集団としての南部杜氏の成立に大きな役割を果たすことになったと考えられるのです。

▼千歯扱きの導入が出稼ぎを促す

元禄期(1688〜1704年)に発明された日本古式の脱穀用具「千歯扱き」の導入により、脱穀作業は飛躍的に効率化され、冬季の出稼ぎが可能な条件となりました。また、冬季の収入源を失った農民たちは、いや応なしに出稼ぎの必要に迫られるようになり、造り酒屋に出稼ぎを始めるようになりました。それが、南部杜氏の始まりだともいわれています。

(※1)間は、尺貫法の長さの単位の一つ。1間=1.818181818m。(※2)酒造石高とは、酒株を持った酒造人が生産する酒の量のこと。

酒造り集団 ● 豆知識

- 杜氏(とうじ) …… 酒造のすべてを統括する総責任者
- 頭(かしら) …… 杜氏を助け、蔵人をまとめる責任者
- 麴師(こうじし) …… 麴造りの一切を担当する責任者
- 舂師(もとし) …… もろみの発酵のもとになる種(酒母)づくりを担当
- 精米係 …… 目指す酒に適した割合まで米を磨き上げる係
- 槽頭(せんどう) …… 搾りの工程を仕切る責任者
- 蒸番(じょうばん) …… 白米を蒸す係
- 洗米 …… 精米した米を洗い、浸漬のための水温の管理を行う係
- 助手 …… 各工程を手助けする経験者
- 働 …… 見習い、下働き



もろみの均一な発酵をうながすため入れは何度も行います。まるで我が子を慈しむように何度も丁寧に。

南部杜氏・歴史年表

寛文5年(1665) 八戸藩が分立、志和が八戸領となる
 延宝6年(1678) 近江商人村井権兵衛が志和で酒造を始め、大阪より池田流杜氏を招く
 宝永4年(1707) 盛岡に松尾神を勧請、領内の酒造神とする文化2年(1805)
 このころから、酒造業者の出稼ぎが始まる。多くは伊達藩仙台領への出稼ぎ
 明治36年(1903) 「石手県酒造組合」結成
 明治44年(1911) 第1回清酒品評会開催、南部醸造研究組合結成。第1回酒造講習会開催
 大正3年(1914) 「南部杜氏組合」創立
 昭和7年(1932) このころから樺太に行く杜氏が増加
 昭和12年(1937) 南部杜氏組合員が2500人を超える
 昭和19年(1944) 組合員の応募により、約700人まで減少
 昭和23年(1948) 「南部杜氏協会」発足(会員900人)
 昭和36年(1961) 南部杜氏協会会員数約3500人。このうち紫波町出身者が1365人で最多数
 昭和57年(1982) 石鳥谷町(現花巻市石鳥谷町) 歴史民俗資料館所蔵の南部杜氏の酒造用具が、国の重要有形民俗文化財に指定される
 平成2年(1990) 石鳥谷町(現花巻市石鳥谷町)と南部杜氏協会の協力により「酒造大学」が開講、以後毎年開催
 平成4年(1992) 清酒の級別制度が全廃
 平成16年(2004) 杜氏資格選考試験に初めて女性が合格。(紫波町「廣田酒造店」杜氏の小野裕美さん)
 平成26年(2014) 「南部杜氏協会」の前身「南部杜氏組合」が発足してから100周年。紫波町南部杜氏および酒造出稼者総数105人。その内、杜氏39人顧問、副杜氏を含む

〔株〕矢尾本店」酒造りと人づくり(1)

南部杜氏を訪ねて・蔵元訪問



(前列左から) 鷹木祐助さん(杜氏)、鷹嘴栄次さん(頭)、(中列左から) 佐々木勝也さん(麹師)、立花重一さん(酛師)、(後列左から) 中村富三さん(社員)、宮川昌紀さん(社員)、逸見孝泰さん(社員)、後藤良行さん(社員)

南部杜氏・鷹木祐助さん 〔水分支部杜氏〕



昭和13年、紫波町生まれ。昭和32年から酒づくりの道を歩み始め、昭和43年まで宮城県蔵元の蔵元で働き、杜氏としては昭和44年から。平成10年から現在の埼玉県秩父市の矢尾本店で「秩父錦」の酒造りに励む。現在、紫波町杜氏連合会会長。

南部流を究める最前線に すがすがしいプロ魂あり

酒造り真っ最中の1月、南部杜氏・鷹木祐助さん率いる埼玉県秩父市の地酒「秩父錦」醸造工場に伺い、酒造りを担う人々の心構えと後進へのアドバイスをお聞きしました。

紫波ネット——酒造り人づくりのお話を伺う前に、生酒甕口酒なまぶちについて教えてください。秩父鉄道の御花畑駅を降りると、いたるところで秩父錦「甕口酒」の看板や張り紙が目に入ってきました。「新酒しぼりたて無ろ過生原酒」と書いてありました。

鷹木さん——甕口酒は、蔵元から「飲



取材協力：(株)矢尾本店 酒づくりの森

〒368-0054 埼玉県秩父市別所字久保ノ入1432

「酒づくりの森」は、地酒「秩父錦」の醸造工場に酒蔵資料館(写真中央)、物産館(写真右)を併設した観光酒蔵です。寛政2年(1749年)に創業して以来、秩父特有の寒冷な気候の中で、荒川水系の良質な水を使用して地酒「秩父錦」などを醸造しています。

矢尾本店～酒づくりの森

検索

み口の良い人気商品を作りたい」ということで、私が造り上げた本醸造酒です。限られたスタッフで最高の酒ができたと思っています。

宮川さん——矢尾本店のヒット商品です。1月10日に発売を開始して、2月末日までは約1万8千本が完売します。人気がありますね。

紫波ネット——駅前の張り紙の印象が強に残ったのでお聞きしました。本題に戻りましょう。酒造りと人づくりの話についてお一人ずつ伺います。どのような縁があって酒造りに関わるようになったのでしょうか。

鷹嘴さん——志和出身です。頭かぶという仕事をしています。主に杜氏の補佐役です。以前は私はサラリーマンで、営



麹造りの様子。麹師を中心にみんなで作業を進める



仕込み作業により、さかんに発酵している酒母



丹精込めて造られた酒が並ぶ物産館

業職でした。頭になって3年目です。ふとしたきっかけで、「酒造りをしてみたい」と話があり、50代で酒造りに参加しました。

酒造りをしていて楽しいと思ったのは、働いたあとの晩酌です。自分がおいしいと思うほどに、造った酒をおいしく飲んでほしいと思います。

佐々木さん——矢巾町出身、42歳、麹師です。今年からこちらにお世話になっています。酒造りを離れる時期は庭師・造園業として全国で働いています。言わば二足のわらじですが、仕事の配分としては、自分の性に合っていると思っています。

酒造りは上下関係が厳しく、拘束時間も長いのですが、自分が作った工程を次に渡していくという明確な分担があるので、やりとげたときに達成感があります。先輩の仕事から学ぶために緊張感をもって仕事に臨んでいます。

鷹木さん——全国の杜氏の中でも、なぜ、南部杜氏が残ったかを考えてみると、酒造りに魅力があったこと、出稼ぎがお金になったことが挙げられると思います。

しばしば蔵元の大きさ（規模）の話聞かれますが、酒が売れるには、地域差があります。地域差とは、いわゆる酒の品格の違いではなく、その地域が抱える市場の広さや風土の違いのことです。杜氏は、蔵元のある地域の特

徴を考慮しながら酒の個性を創造します。南部杜氏はその創造力が優れているのだと思います。

中村さん——私は以前、矢尾百貨店で働いていたのですが、蔵に異動し、酒造りは4年目になります。南部杜氏さんの優れた酒造りも魅力ですが、私はこの蔵元の人づくりに特徴があると思います。この蔵元特有のおだやかな雰囲気がいいと思います。

鷹木さん——人づくりのことで言えば、杜氏は頑固で厳しい指導者でいいのだと思っています。それは、酒税法上の決まりや各酒の個性を醸すには厳格な規格があるからです。特に矢尾本店のように比較的規模の大きい近代設備をもった蔵元では、勘に頼った仕事ばかりでは成立しない采配が求められます。杜氏は自分の器量に合った蔵元で働いて、経営者と消費者の両方を満足させなければなりません。指導の言葉が、ついつい厳しくなるのは当たり前のことなのです。

立花さん——水分出身で、配師を務めています。酒造りは、昭和62年から始めて28年になります。この蔵元は今年からですが、以前に鷹木杜氏さんと一緒に働いていたことがあります。

酒造りのおもしろさは、教科書通りにいかないところでしょうか。

鷹木さん——昔話ですが、若い人を連

れて酒造りに出向いた際、出稼ぎに出たなら、遊んでばかりいないで家業としてお金を手にして帰るようによく指導したものです。遊びたい気持ちも分からなくてもいいですが、早朝から仕事が始まりますからね。朝仕事があるのは、今も昔も変わりません。それだけ繊細な仕事でもあるのです。

後藤さん——玄米管理、精米、洗米という工程を担当しています。以前は配達の仕事をしていましたが、今は酒造りの最初の重要な役割を担当させていただいています。酒造りの順番を知って造り方が分かれば経験になります。その経験が、酒造りのおもしろみになっています。

逸見さん——高校の食品化学科を卒業しています。みその製造を経験したことから、酒造りに関心を持つようになり、矢尾本店に入社しました。最初から酒造りに携わりたかったので、とてもやりがいを感じています。

みんなで時間をかけて造ったお酒をお客様に「おいしい」と言ってもらえることが一番うれしいです。

鷹木さん——紫波では、毎年蔵元フェスティバルを開催しており、酒造りに興味のある若者も見受けられます。

酒造りに興味のある人は、ぜひとも協会の事務局に声をかけてください。若いうちに来てほしいと願っています。

南部杜氏を訪ねて・蔵元訪問 「(株)一ノ蔵金龍蔵」酒造りと人づくり(2)



阿部学さん(左)と照井丸實さん(右)

南部杜氏・^{まるみ}照井丸實さん[古館支部杜氏]

昭和17年、紫波町生まれ。高校卒業後すぐに杜氏だった父のところで酒造りに従事。36歳の時に杜氏となる。仙台伊澤家 勝山酒造株式会社に45年勤務。平成16年より(株)一ノ蔵金龍蔵にて杜氏を務めている。

麴師・阿部学さん[古館支部]

昭和55年、紫波町生まれ。一度酒造りを志すも断られ、造園会社(矢巾町)に就職。平成23年、建築業をしている知り合いから誘いを受け、冬期間の出稼ぎを始める。

職人気質の真面目さが あれば将来有望

紫波ネット——今回は、南部杜氏の働く現場を見せていただきながら、どのようにすれば酒造りの世界に入れるのか、また、どのような人材が酒造りに適しているのかを、南部杜氏の照井丸實さんと麴師の阿部学さんにお聞きします。

阿部さん——古館出身、34歳です。酒造りは4年目ですが、(株)一ノ蔵金龍蔵は1年目です。酒造りにどのようにして関わるようになったかといわれると、話が長くなりますよ。

紫波ネット——ぜひそこを知りたいです。

阿部さん——まだ20代だった10年ほど前に石鳥谷の協会を訪ねて酒造りをしたいと申し込みました。でも本気に見えなかったのか、断られてしまいました。それから、酒造りの道へ進む意志がありながらも、その道への登竜門を探す術も無く、縁あつて造園業に勤めることになりました。

紫波ネット——いつ酒造りに出会ったのですか。酒造りに進みたいという意志は持ち続けていたのですか。

阿部さん——実は偶然ですが、広島で酒造りをしているという人と出会い、広島に行つて酒造りを体験することになったのです。社員が若い蔵元で、1年目か

ら工場長の指導の下、麴師を務めました。最初は覚えることが多く大変でしたが、2年目に自分でうまいと思える麴米ができたんです。達成感がありました。また、同じものを作りたいと思うようになりました。

照井さん——その達成感を大事にしたいね。その感覚を忘れてはいけません。

阿部さん——2年目からは、作業の手順や操作に余裕ができるようになり、いろんなことを見たり感じたりできるようになってきました。苦心するほど研究したい、学びたいと思いました。「やっぱり基本からやりたい」と思い始めた3年目に照井さんに声をかけていただきました。



取材協力：(株)一ノ蔵 金龍蔵

〒987-2303 宮城県栗原市一迫字川口中町55

昔ながらの造り酒屋の風情を残し、岩山を背負うようにひっそりと佇む金龍蔵は、文久2年(1862年)創業の歴史ある酒蔵。平成3年から一ノ蔵の第二蔵として操業を開始。主に吟醸酒などの高級酒を寒造りで醸しています。

一ノ蔵

検索

照井さん——一から基本を学びたいという姿勢がありましたね。支部が同じな方で真面目な青年だなと思っていました。杜氏になりたいと自分で研究をしているのがいいと思う。経験10年で杜氏資格試験を受けられるし、南部杜氏協会が開いている夏場の酒造大学も参加してみたい。

阿部さん——最近は麴箱の麴米の音で、出来不出来が分かるようになってきました。出来のいいときは、心地よい音がするんです。

照井さん——出稼ぎ杜氏の仕事の配分が、私にはちよつどいい。1年の生活の中で、11月から4月までは酒造り、そのほかを農業にあてています。半年の働きが心にも体にもいい。蔵元の杜氏さんは、1年中忙しくストレスが多いから気の休まる時が無いと思います。

紫波ネット——酒造りのおもしろさは、どんなところにありますか。人づくりをどのように考えますか。

阿部さん——酒造りのおもしろさは、作業が大変だけど、良いものができると楽しいこと。苦しいのは拘束時間が長いことかな。私の場合も酒造りは、11月から4月までで、7月から10月までは、造園業に従事しています。

人づくりでは、酒造りと造園業で若者を引き留める環境づくりを考えています。若者を育てるには、教え方も大切

です。できるだけ早く、伝え教える人になりたいと思っています。

照井さん——私は、36歳の時に頭から杜氏になりました。阿部君の職人気質で真面目なところに期待しています。酒造りに適性があるとすれば、ストレスの多い仕事ですから、おおらかな人柄が合っていると思います。

阿部さん——酒造りは、気にすれば気にするほど学ぶことの多い、自然と共生する仕事です。造園業にも通じることなので、私は酒造りも造園も同じようにおもしろいと思っています。

これから酒造りに挑戦する若い人には、ぜひ3年はやってみてほしいです。おもしろみが分かると、とことん挑戦してみたくくなります。

照井さん——人づくりとしては、酒造りをやりたい若者を探す場や、そのような若者と出会う場があればよいと思います。私は、見学者はいつでも受け入れるようにしています。こうした機会を酒を身近に感じてもらい、酒を飲む人を増やしたいと思っています。

幸いこの蔵のファンが「金龍蔵の会」を作っていて、北海道から九州まで会員がいることはとても嬉しいことです。これらの担い手である若者が酒造りに携わっていきける環境づくりを考えていきたいと思っています。そして、次世代に南部杜氏の誇りを伝えていきたいと思っています。

阿部さん——自分は、「南部杜氏」という言葉の響きが好きです。南部杜氏の名を守るつもりで研さんを続けます。

酒造りをやってみたい人は、まず一度門をたたいてみることをおすすめします。私も、できる限り相談に乗りますよ。



昔ながらの木樽で醸造されている酒。まるで生き物のようにふつふつと泡がわき出してくる



栗原の米と水で造られた「金龍」。蔵人たちの努力の一滴がここに詰まっている

全国に名をはせ

活躍する南部流の酒造り

南部杜氏の働く蔵元を調べて分かることは、北は北海道から、南は山口県まで、みごとに全国に広がっていることです。紫波町出身の杜氏の働く蔵元だけを見ても、青森県から岡山県までの広がりがあります。町出身杜氏の活躍の舞台を、地図に表してみました。(平成26年5月31日現在)



南部杜氏協会紫波町内支部の構成

支部名	階級	顧問・杜氏・副杜氏	頭	麴師・酛師・醪係	蒸番・槽頭・精米	助手・ほか	合計
● 水分支部		5	1	4	—	—	10人
● 古館支部		1	—	3	2	1	7人
● 赤沢支部		3	—	4	4	2	13人
● 佐比内支部		3	2	4	4	1	14人
● 彦部支部		3	1	4	1	2	11人
● 赤石支部		7	2	3	—	1	13人
● 志和支部		18	5	7	5	3	38人

酒造りに必要な主な原料は、米、麴、酵母、水。米のでんぷんを麴菌が糖に変え、その糖を酵母がアルコールに分解し酒が生まれます。

酒造りの流れ

●精米

玄米の外側を削って白米にする。このとき削って残した白い部分(心白)の割合(精米歩合)によって、造られる酒の種類や名称が異なる。

●洗米

精米を終えた米を専用の機械を使って洗い、ぬかやゴミを取り除く。

●蒸米(ふかし)

白米を水につけて吸水させた後、水切りをして、蒸す。蒸すことによって、白米のでんぷん質を糖に変化しやすくする。

●放冷

蒸した白米を放冷機に移し、かたまりをほぐしながら適度な温度になるまで冷ます。

●麴造り

適温になった蒸米に麴菌(種麴)をふりかけ、麴の繁殖に適した麹室に入れて、温度と湿度を管理する。近代設備を備えた蔵元では、この工程の自動化が図られている。

●酒母造り

麴によって糖に変わった蒸米をアルコールに変えるために、酵母、

水を混ぜて、酒母(酛)を造る。

●仕込み

酒母(酛)に、麴、蒸米、水などを加えてアルコールの育成を待つ。酒の「もろみ」を造る工程。

●発酵

「もろみ」の均一な発酵をうながすために、何度も攪入れを行う。

●搾り(上槽)

発酵を終えた「もろみ」を搾り、清酒と酒かすに分離。

●ろ過・熟成

搾り終えた清酒

は、ろ過を行い、雑菌を取り除き、発酵を止めるために低温熱処理(火入れ)を行い、アルコールの調整のために水を加え、熟成を待つ。

●瓶詰め・出荷

適度に熟成した清酒から順次瓶詰めを行い出荷。



〔参考文献:『紫波町史第1巻』『南部杜氏のあゆみ-南部杜氏協会創立百周年記念誌』『一般社団法人南部杜氏協会会員名簿 平成26年5月31日現在〕

守っていますか？ 波紫のく環

ごみの出し方のルールとマナー



町には最近、「ごみの出し方のマナーが悪い人がいて困っている」という苦情が多く寄せられています。ごみは、毎日の生活から必ず出るもので、汚いもの

で維持・管理を行っています。他地域からのごみの持ち込みは、その地域のごみ集積所を利用して人にとって、大変迷惑です。ごみは、必ず自分の地区のごみ集積所に出しましょう。

○ごみの分別や出し方のルールを守っていますか？

ごみには、清掃センターに直接搬入することになっているごみ（例：ベッドやオルガンなど）や清掃センターで受け入れできないごみ（例：タイヤやテレビなど）など、ごみ集積所に出せないものがあります。

また、異物が混じったごみや分別ができていないものなど、出し方のルールが守られていないものは収集されませんので、ごみ収集カレンダーやごみ分別辞典で



○ごみを出す日時を確認して出していますか？

ごみは、地域によって種類ごとに収集日が決められています。ごみ収集カレンダーをよく確認して、決められた日の午前8時までに出しましょう。

○決められたごみ集積所に出していますか？

ごみ集積所は、地域の皆さん



(※)ごみ分別辞典で

○自分が出したごみで他人に迷惑をかけていませんか？

分別方法をよく確認し、ルールを守って出しましょう。守られていないごみは収集されません。ルールが守られないと、ごみ集積所が散らかったり汚れたりして悪臭などを放ち、周辺の環境に悪影響を及ぼします。



収集が終わってからごみを出したり、間違ったごみの出し方をしたりすると、ご近所の人や掃除担当の人など、利用者の皆さんに大変迷惑がかかります。ごみ集積所は、ごみ捨て場ではありません。家庭から出されたごみを回収するための「一時保管場所」です。

(※)ごみ分別辞典は、環境課で配布しています。

報告 家庭ごみ月別排出量

単位：kg

町内で排出された家庭ごみの量を、3カ月ごとにまとめてお知らせします。



	10月	11月	12月
燃やせるごみ	375,130	335,270	317,280
生ごみ	77,090	72,530	76,080
資源ごみ	65,770	66,450	72,630
大形・不燃ごみ	41,080	41,560	35,380
その他	5,640	8,150	3,610
計	564,710	523,960	504,980

■問合せ 環境課 生活環境室 ☎672-2111 内線3521～3523

国体 だより

おもっち
(自転車バージョン)



このコーナーでは、平成28年に開催されるいわて国体に関わる町の最新情報をお知らせします!



南側から見たイメージ。大会当日は選手待機所や販売テントなど仮設設備が並び



フィニッシュ地点。花いっぱい運動の花壇や装飾看板などが、全国からの選手・観客を歓迎する



たくさんの重機が入って造成工事が進行中(12月中旬)

■施設の概要 ○整備面積:約2万5千㎡ ○自転車専用道路や駐車場(200台以上)、おもてなしスペース、トイレ、倉庫を設置 ○フィニッシュ地点の幅員が8m、視距離が200m以上の登り坂 ○選手や観客など交通アクセスが容易 ○県大会、東北大会のみならず全国大会級のレースの誘致が可能

町は現在、平成28年の希望郷いわて国民体育大会をひかえ、自転車競技の開催に向けた準備を進めています。
これまで、自転車ロードレースは佐比内地区の自治公民館などを拠点に開催してきました。しかし、設備や駐車場などの不足から競技者や地域住民へ多くの不便をおかしていました。また、国体には全国からたくさんの方々が訪れることから、その受け入れが可能な施設が必要となってきます。
現在工事を進めている自転車ロードレース拠点施設(仮称)は、安心で安全な競技開催を行うため、佐比内字外ヶ沢地内に新たに整備しているもので、今年6月の完成を目指しています。

自転車ロードレース拠点 施設の工事が進んでいます

募集

紫波町運営

ボランティアを

募集します!

46年ぶりに岩手で開催される「いわて国体」に、運営ボランティアとして参加しませんか。活動期間のうち1日だけの参加もできます。みんなであって国体をつくり上げましょう。

■活動期間

リハーサル大会

平成27年8月21日(金)～23日(日)

いわて国体

平成28年10月5日(水)～9日(日)

■活動内容

受付・案内、会場サービス、環境美化、駐車場・交通整理、記録員、立哨員(コース周りで、選手たちのレースの監視に当たる人)

■募集期間

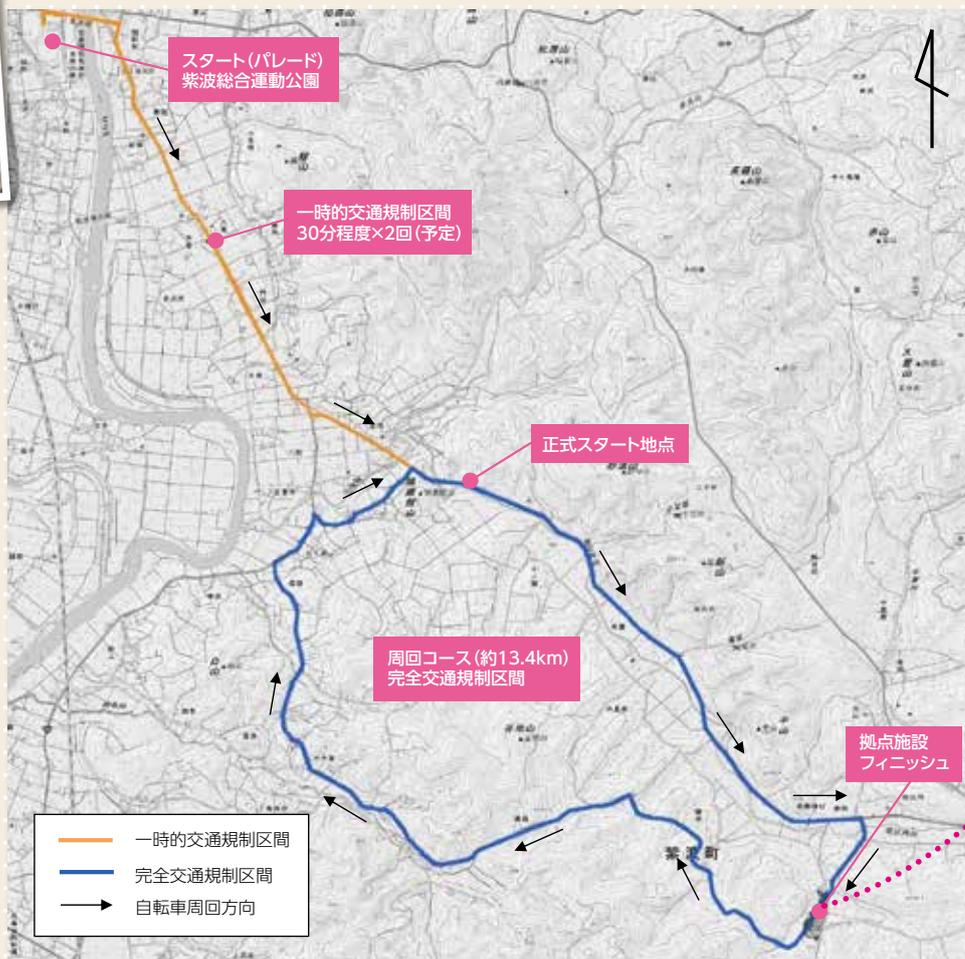
平成28年3月31日まで
(リハーサル大会は平成27年5月15日まで)

■応募要件

町内に在住、在勤または在学している個人、グループ・団体で応募時に中学生以上の人。応募時点で18歳未満の場合は、保護者の同意が必要です。



国体のロードレースコースが決定しました



スピードを競う平坦地と登坂力が試される山間部が複合した現在のコースは、理想的なコースとして知られ、多くの大会が開催されています。(財)日本自転車競技連盟の基準に基づく調査や沿線住民説明会を経て、これまでよりも周回距離が長い1周13.4kmのコースが新たに選定されました。

大会当日は交通規制がありますので、皆さんには大会の都度、お知らせをいたします。

国体とリハーサル大会の日程

- いわて国体リハーサル大会(第50回全国都道府県対抗自転車競技大会)
 - トラック競技 平成27年8月21日(金)～22日(土) 紫波自転車競技場
 - ロードレース 平成27年8月23日(日) 紫波自転車ロードレースコース
- 希望郷いわて国体
 - トラック競技 平成28年10月5日(水)～8日(土) 紫波自転車競技場
 - ロードレース 平成28年10月9日(日) 紫波自転車ロードレースコース

※大迫力のレースを間近で観戦できます。どうぞ皆さんで応援にお出かけください。

協賛者を募集しています

■応募方法 町教育委員会備え付けの申込書に必要事項を記入の上、持参、郵送、ファクシミリなどにより、町実行委員会事務局までご提出ください。(保護者同意が必要な場合は持参または郵送に限る)

いわて国体とリハーサル大会に向けて、企業・個人の協賛を募集します。全国各地から町に訪れる選手、監督、役員や一般観戦者の方々に歓迎するためにも、必要な広報啓発や大会運営に必要な物品を提供いただきたいと考えています。

■協賛の内容

- 両大会の広報啓発と歓迎装飾に係る物品(のぼり旗、ポール、大会啓発グッズなど)
- 大会運営に必要な用具など(トランシーバー、パソコンなど)
- 資金による協賛

■申込・問合せ

希望郷いわて国体紫波町実行委員会事務局(紫波町教育委員会内)
 ☎019(672)3362

健やか ランド紫波

健康と福祉の情報
コーナー



健康 あなたの献血で助かるいのちがあります

健康であれば、血液は、毎日体の中でつくられています。血液は、酸素を体中に運ぶ、病原体と闘う、出血を止めるといった生命の維持に欠かせない役割を担っています。科学が進歩した現在でも人工的に作ることはできません。

そのため、病气やけがで血液を必要としている患者さんに血液を届けるためには、皆さんの献血が必要です。

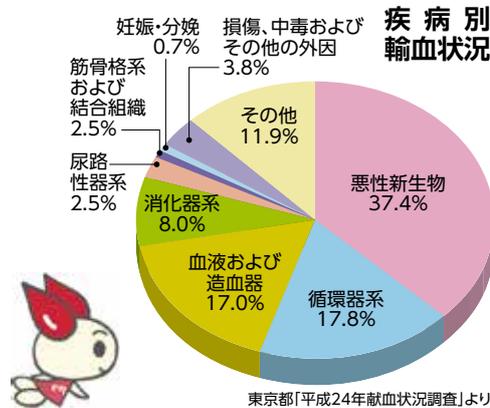
献血は、少しの間で他の人の命を救えるボランティアです。病气やけがで苦しんでいる誰かのために、献血にご協力ください。

◆全国で献血を必要としている人は1日30000人

輸血というと、事故などでけがを負った時に使われるイメージがありますが、約8割は病気の治療のために使われています。

がんの治療に最も多く使用されており、がん患者の増加に伴い、輸血用血液の需要はますます増えています。
また、輸血を必要とする人の約85%は50歳以上の人たちです。

疾病別輸血状況



◆採血の基準

年齢と体重

採決基準の主なもの

		200ml献血	400ml献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

※60～64歳までの間に献血経験がある人は、69歳まで献血が可能です。

内服薬との関係

採血基準の見直しが行われ、次のような薬を服用していても献血が可能になりました。

- ・高血圧や高コレステロール血症治療薬、
 - ・アレルギーの薬、サプリメント など
- (最終的には医師が判断します)

◆献血者の状況

現在の献血は、30代以上の人が支えている状況で、10代、20代の人の献血は減少しています。少子高齢化の進行とともに、年々輸血を必要とする側の人の割合が大きくなっており、近い将来、深刻な血液不足が懸念されています。

◆献血Q&A

Q: 時間はどのくらいかかるの？

採血前の受付や問診・検査は10～15分程度。採血時間は200ml、400mlなどの全血献血の場合は15分程度、成分献血の場合は採血量に応じて40～90分程度です。

Q: 献血をして病気になる、感染することは？
心配ありません。献血をするときに使われる針などは、一人ずつ新しい物に交換します。

Q: 献血をすると自分の体が分かる？
希望者には、7項目

(※)の血液検査の結果をお知らせしますので、健康管理に役立てください。

※ALT (GTP)、γ-GTP、総たんぱく、アルブミン、A/G比、総コレステロール、グリコアルブミン(糖尿病の検査のひとつ)

◆今後の献血日程

2月27日(金)
午前9時～11時
紫波警察署
午後0時30分～1時30分
山王土地改良区
午後2時30分～4時30分
マックスバリュ
紫波店





からだよろこぶ
ヘルシーレシピ



じゃが芋のサラダ

長寿健康課のレシピです

材料(4人分)

- ジャガ芋.....中2個
- ハム.....2枚
- キュウリ.....1/2本
- マヨネーズ.....大さじ1
- カレー粉.....小さじ1/4
- 顆粒のコンソメ.....小さじ1/2
- 酢.....小さじ1

- 1 ジャガ芋の皮をむき2~3mm幅のせん切りにする。さっとゆでて冷ます。
- 2 ハムとキュウリも5mm幅のせん切りにしてさっと熱湯に通して、ざるにあげて冷ます。
- 3 材料を冷ましている間に、調味料を混ぜておく。(始めに顆粒コンソメと酢を混ぜておくと、全部の材料が混ざりやすい)
- 4 12が冷めたら、3の調味料とあえて出来上がり。

●ポイント
カレー粉や酢を使うことで塩分を控えにすることができます。

長く人生を歩めば、多くのモノとの出会いがあり、所有しているモノも多くなってきました。しかし、モノが多いとリスクにもなりかねません。

「家が広いから少しぐらいモノが増えても大丈夫」という人も少なくありません。ただ、加齢とともに高齢者住宅への住み替えや子世帯との同居といったことも想定され、住み替え先へ移せるモノは限られてしまつてもしょうがありません。

また、要介護状態になったとき、要介護度にもよりますが、自分のモノを自分で管理することはおろか、モノが介護の妨げになることもありえます。自分では何もできないだけでなく、どこに何があるのかさえも分からなくなっていることも考えられます。

そして、残された家族のことも考えなければいけません。子どもにとつて、親のモノはすべてが思い出です。特に別居していた子ども

は、「これもお母さんが大切にしていたモノかしら」「あれもお父さんが使っていたモノだろうか」と悩みながらも、親が大切にしていたモノが何なのか知らされていないため、処分ができず、手つかずのまま廃屋となつていくこともあります。

逆に相続税がかかるため、売却するために細かいところは見ずに全て処分をするという人もいるかもしれません。持ち物の整理は、親族では見極めが難しいことがあります。

さらに、モノを整理するだけでなく、体に合った無理のない動線を考えることも重要です。家の中のモノにつまずいてけがをしたり、災害時などでモノが崩れ落ちたためにけがをしたり、もしもの時の脱出経路をふさがれてしまつたなど、安全性を考えた収納も心がけて考えてみましょう。

できるだけ自分が元気なうちに、身の回りの整理に取り組んでみませんか。

町は、次の日程で「終活に欠かせない整理収納」についての講演会を開催しますので、興味のある人はご参加ください。

21ころの健康講演会

私の「快適人生」

モノとお金の整理から考える

老後の備えのススメ!!

参加無料

今、話題の「終活」について、自分の家の整理収納から考える講演会を開催します。

自分の生活に必要なモノを整理し、これからの生活がしやすくなる講演会です。

■日時 3月13日(金)

午後1時30分~3時30分

■開場 情報交流館2階 大スタジオ

■講師 金田玲子さん 整理収納コンサルタント

■定員 60人

■申込・問合せ 3月10日(火)まで

福祉課 福祉推進室

☎(672)2111 内線1533



みずき団子を 作って交流

地域の方々に教わりながら、みずき団子を飾る子どもたち



水分公民館（坂本好司館長）で1月9日、みずき団子交流会が開かれました。水分児童館やこどもの家、老人クラブ連合会など地域の方々42人が参加し、ミズキの木に、色とりどりのみずき団子を飾りつけたり、かるた取りやコマ回しなどを一緒に体験したりしました。子どもたちは「いろいろな色の団子を丸めるのが楽しかった」「団子を木にさしたら、花が咲いたみたいできれいでしょ」とうれしそうな表情を見せていました。

気合込め、心身鍛える 空手寒稽古



頬を赤く染め白い息を吐きながら、一生懸命に走った参加者の皆さん

小雪がちらついた1月10日、紫波町空手道協会（足澤國男会長）の寒稽古が行われました。5歳から大人までの約20人が、空手衣を身にまとい「イチ、ニ、オー」と大きな声を出しながら、町内約6キロを走破しました。上平沢小学校3年生の長谷川龍空くんは「寒かったけど、走りきることができて良かったと思ったし、来年もまたやりたい」と達成感あふれる表情で語っていました。



実際に本を紹介しながら、本との出会いを語った早川さん(右)と伊藤さん(左)

“本先案内人”が語った 「本との出会い方」

情報交流館で1月11日、トークイベント「面白い本と出会う方法」が開かれ、町内外から約100人が訪れました。(株)吉楽堂代表の石井伸介さん、元さわや書店本店店長を務め、現在は一関図書館の副館長の伊藤清彦さん、前南相馬市立中央図書館副館長で富士大学教授の早川光彦氏の3人が、ご自身の経験や読書体験などを交えながら、1冊の本を通じた新たな本との出会いについて語りました。その中で早川さんは「周りにいる大人が照れずに、子どもや若い人におすすめの本を伝えることが大切。このような図書館がある紫波町は5年後、10年後に人材が育ってくると思います。今から楽しみです」と期待を寄せていました。

100歳おめでとう! 鳥内サワさん、三縄美智子さん、福田喜代さん



町長から「町の最高齢記録を目指してください」と応援され、満面の笑みを浮かべた鳥内さん(中央)

1月中、町内3人の女性が100歳の誕生日を迎えられ、町から敬老金と花束が贈られました。

5日に誕生日を迎えた鳥内サワさん（高水寺）は、お孫さんや玄孫さん全員のお名前も分かるお元気づり。若いころから百姓仕事をこなし、体を動かすことが大好きだったことから、90歳まではゲートボールをしており、優勝経験もあったそう。長寿の秘訣は「なんでも食べる」と話し、現在も毎日3食をしっかりと食べているそうです。

30日には「百寿の郷」に入所中の福田喜代さんが誕生日を迎えられ、施設でお祝い会が開かれました。アトラクションとして、虹の保育園の園児たちによる「さんさ太鼓も披露され、息子の耕司さんは「若いころは踊りを踊っていたので、子どもさんたちの太鼓を聞いてきくと思い出していたと思います」と思いを語っていました。

また、11日に誕生日を迎えられた三縄美智子さん（日詰）には、ご家族を通じて、お祝い品が贈られています。町内の100歳以上者は、2月5日現在で12人です。



ご家族と一緒に晴れやかな笑顔を見せる三縄さん(左から2番目)



赤い祝着に身を包んでハレの日を迎えた福田さん(中央)

一年の無事故願って 交通指導隊初点検

紫波町交通指導隊の初点検は1月9日、総合体育館前で行われました。佐々木俊彦隊長をはじめとする22人の隊員が、点検者の熊谷町長から、服装や手帳、警笛などの点検を受けました。佐々木隊長は「各地区公民館や学校などの施設、街頭などで、姿を見せる活動が続けていくことが大切だと考えています。基本の交通マナーの徹底を図り、死亡事故や飲酒運転ゼロを目標に活動していきたいです」と今年の抱負を語っていました。



熊谷町長から手帳の点検を受ける隊員たち

真新しい気持ちで書に向かう



姿勢を正し、一筆に集中する子どもたち

中央公民館で1月10日、小学生書き初め大会が行われ、町内の小中学生73人が参加しました。子どもたちは、当日発表されたお題のお手本を見ながら、一画ずつ丁寧に、真剣な表情で半紙に筆を走らせていました。日詰小学校4年生の山崎彩夏さんと山影紫音さんは「うまく書けた字も、うまく書けなかった字もありました。今年ももっと上手に書けるように練習したいです」と気持ちを新たにしていました。

日詰地区で初めての 公民館まつり開催

日詰公民館(堀内憲館長)は1月24、25の両日、初めての公民館まつりを開催しました。地区内のサークル活動などの発表をとおして地域住民同士のつながりを深めることを目的に開かれたもので、2日間でのべ約750人が来場。1日目には、小中学生の教育振興運動活動発表や吹奏楽部による演奏、2日目には、中央保育所児童や地区内各サークルの発表などがありました。堀内館長は「来年以降も継続し、徐々に定着させていきたいです。各サークル活動も高齢化が進んでいるので、若い人たちにPRする機会にもしていければ」と今後の抱負を語っていました。



地域の幼児から大人まで、さまざまなジャンルの作品が並んだ展示場

元全日本最小最強セッター、竹下佳江さんがオガールベースに



子どもたち一人一人の体の動かし方を見ながら、丁寧に指導する竹下さん

オガールベースのバレーボール専用体育館で1月11日、バレーボール女子元全日本セッター、竹下佳江さんのバレーボール教室が開かれました。O Wells 紫波バレーボールアカデミー生や同施設で合宿中の男子高校生など約100人が参加し、竹下さんから直接、トスやレシーブなどの指導を受けました。練習後には質問時間が設けられ、子どもたちは「どうしたらバレーボールが上手になりますか」「どうやったらチームをうまくまとめられますか」など、少しでも竹下さんのプレーに近づこうと、さまざまな質問をしていました。

竹下さんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼントします。希望される人は、郵便はがきまたは電子メールで①お名前②住所③電話番号④広報「紫波ネット」の感想を添えて、3月6日(金)までにご応募ください。
〒028-3392 紫波町役場 企画課 情報政策室「竹下佳江さん色紙プレゼント」係 ☎joho@town.shiwa.iwate.jp
当選者には、後日直接サイン色紙を郵送します。

特別
プレゼント

催し

オガール・アコースティック・フェスティバル

町にゆかりのあるアーティストや町内アマチュアバンドが出演します。幅広い世代、音楽ジャンルを楽しむことができる機会です。出入り自由ですので、お気軽にお出かけください。スケジュールは、紫波町情報交流館ホームページをご覧ください。**観覧無料**

■日時 2月21日(土)午後1時～7時

■会場 情報交流館1階 市民交流ステージ

■出演者 遠山真衣、紫音、藤原翼、MIMI☆TATA、Normalize、及川寛主、フロムソウル、PINKTALL、絵美夏、fuwala、松本哲也(出演順・敬称略)

■問合せ 情報交流館 ☎(672)2918

いわてスイーツフェア 2015開催

盛岡広域圏を中心とした県内の魅力あるお菓子などが大集合します。関西からも超人気店のスイーツがやってくるほか、ステージイベントには臼沢みさきさんやアンダーパスなどが登場します。

■日時 2月21日(土)、22日(日)

午前10時～午後4時

■会場 岩手県産業文化センター・アピオ(滝沢市)

■問合せ 実行委員会事務局(盛岡広域振興局経営企画部内) ☎(629)6670

第38回「よもぎの本学び・羅針盤」

「よもぎ」の本の世界について、一緒に語り合いませんか。聞かだけの参加も大歓迎です。興味のある人は、ぜひお出かけください。

■日時 2月28日(土) 午前10時～正午

■会場 紫波町図書館 ミーティングルーム

■内容 ローズマリ・サトクリフの作品を読む(第九軍団のワシ)・太陽の戦士(ほか)

■問合せ おはなしの森 菅原和子 ☎(673)6291

乳幼児期に起こりやすい事故とその予防法緊急時の救命法の講習を行います。対象の年齢ではないお子さんも参加できますので、お気軽にお出かけください。**申込不要**

■日時・会場

・第1回 3月3日(火)午前10時～11時

虹の保育園子育て支援センター

・第2回 3月4日(水)午前10時30分～11時30分 紫波町子育て支援センター「しゅっせ」

■対象 主に0～1歳児とその保護者

■問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎(672)4522 有線(01)8991

健康づくりセミナー

(財)体育協会から講師を招き、誰でも気軽にできる健康体操を体験します。申し込みの上、動きやすい服装、タオル、バスタオルを持参してお出かけください。**参加無料**

■日時 3月6日(金)午前10時～11時30分

■会場 中央公民館和室

■定員 20人

■申込問合せ 3月5日(木)まで

中央公民館 ☎(672)3372

有線(01)2922

スポーツベースシフ教室

縄跳びやボール運動など、体づくりに必要な動作を親子で体験する教室です。申し込み

の上、動きやすい服装で、内履き、着替え、タオル、飲み物を持ってお出かけください。

■日時 3月21日(土・祝)

午前9時30分～11時30分

■会場 総合体育館

■対象・定員 年長～小学3年生までの親子30組

■講師

中島昭博さん(元ハンドボール日本代表)

八重樫剛さん(ボクシング広島アジア大会メダリスト)

■参加費 親子1組 1000円

■申込・問合せ 2月20日(金)から、総合体育館窓口で受付開始。(一財)紫波町体育協会 ☎(676)2650

募集

紫波町障害福祉プラン(案)への意見公募 市民参加

町は「紫波町障害福祉プラン(障害者計画・第4期障害福祉計画)」を策定するため、原案に対するご意見を公募しています。計画案は、福祉課、中央公民館、各地区公民館、ゆいっとサロン、総合福祉センター、町のホームページで閲覧できます。

■提出・問合せ 2月25日(水)まで。住所、氏名、年齢を記載し、直接持参するか郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかで福祉課まで提出してください。

福祉課 福祉推進室 ☎(672)2111

内線1522 FAX(672)2311

☎fukushi@town.shiwa.iwate.jp

平成27年度の奨学生を募集

平成27年度の高校、大学などの奨学生を募集します。

■貸付金額(月額) 高等学校2万円(県外3万円) / 高等専門学校・専修学校(専門

眠っている不動産はありませんか

土地・建物の有効活用 秘密厳守 等、ご相談賜ります 相談・見積は無料

岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員

(株)紫波中央不動産

〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)

☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

医療保険適用 在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!

歩行が困難な方 身体にマヒがある方。不自由がある方 車椅子使用の方など…

お気軽にお電話ください。 ☎090-3753-0594

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。

あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ 盛岡となん整骨院 盛岡市三本柳10地割17-53 TEL.フリーダイヤル ☎0120-213-222



豊かな公が
息づくまち

3月8日(日)は オガールに集合!

午前11時～午後4時

町内の市民活動や、各地区とオガールの魅力を知ることができるイベントが開催されます。 **参加無料**

まちづくり大交流市

地域でさまざまな活動をしている人たちを知りながら、地域の中で自分ができることを探してみませんか。

■会場 情報交流館 1階 市民交流ステージ

■内容 パネル展示「ゆいっとサロンの軌跡」、まちづくり基調講演、市民活動相談会 など

■問合せ 企画課 協働支援室 ☎672-2111 内線3242

新しい「いいね!」がきっと見つかる

まち育ての祭典

町内各地区とオガール地区がにぎわうまちづくりについて、これまで開催してきたワークショップの成果を発表します。今まで知らなかった地域の魅力を見つけてみませんか。お誘い合わせの上、お気軽にお出かけください。

■会場 情報交流館 2階 大スタジオ

■内容 パネル展示「オガールへの道のり」、まちづくりリレートーク、地域や団体からの出店 など

■問合せ 企画課 公民連携室 ☎672-2111 内線3252

夜のとしょかん 第4夜

日中に図書館を利用できない方々にも図書館を身近に感じてもらえるように、参加型トークイベントを開催します。

■日時 2月26日(木) 午後7時30分～8時30分

■会場 紫波町図書館 一般フロア

■内容・講師 「現代の名工が語る日本酒のはなし」
藤尾正彦 氏 (現代の名工、(株)あさ開・杜氏)

■定員 50人程度

手づくり絵本展

「第68回読書週間」に合わせ、県内から集まった手づくり創作絵本を展示します。

■日時 2月19日(木)～22日(日)

■会場 紫波町図書館 児童フロア

■問合せ 紫波町図書館 ☎671-3746

図書館 からの お知らせ



紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

「紫波町勤労者教育資金」 随時受け付け中

町は、進学に要する資金を必要としている勤労者に対しての貸し付けを、随時受け付けています。

■対象者

次の①～⑤の条件を全て満たしている人

- 課程 3万円/短期大学・大学3万円(県外4万円)
- 償還方法 卒業後、在学した学校の修学年限の2倍相当期間以内に償還(例・4年生大学の場合8年間)※無利息、ただし期間超過の場合延滞金あり
- 申込・問合せ 3月2日(月)～31日(火)の期間に、学務課で配布する申請書類に必要事項を記入し、必要書類を添えて申し込みください。審査の決定は4月下旬です。学務課 ☎(672)33362 有線(01)8941

「予備自衛官補を募集しています」

防衛省は、第1回予備自衛官補を募集します。

■試験日 4月10日(金)～14日(火)のうち指定する1日

■受験資格 一般 18歳以上34歳未満

3/1(日)～7(土)は 建築物防災週間です

期間中、県町・消防などが共同で、防災上の配慮が強く求められるような建築物を中心に防災査察を行い、必要に応じた指導をします。また同期間中、次の窓口に防災相談所を設置しますので、建築物の防災についてお悩みの人はぜひご利用ください。

■窓口・問合せ

若手県土整備部 建築住宅課

☎(629)50637 FAX(651)4160

盛岡広域振興局 土木部

☎(629)6650 FAX(652)6924



〔技能〕18歳以上資格によつて53～55歳未満
■申込・問合せ 3月24日(火)まで 自衛隊若手地方協力本部盛岡募集案内所 ☎(641)5191

謝恩会 歓送迎会にオススメ

おまかせ皿盛プラン

皿盛料理7品 + 120分飲み放題 + 入浴付!!

大お一人様 **4,000円**

○季節の料理7品に飲み放題がセットになったお得なプランです。○8名様から承ります。
○ご利用時間は10時～15時、18時～21時の間となります。

紫波町小屋敷数字新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
ラ・フランス温泉館 検索
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

ハダカのおつきあい一家だんらん。
La France
ラ・フランス温泉館

紫波の風土がみえるワイン
ぶどう栽培農家の思いから生まれた
100%地元産です

お土産に
紫波の
ワインを

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山宇松原 1-11 (道の駅紫波の裏手)
☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

『紫波ネットつづり表紙』に広告を掲載しませんか



表紙 裏表紙

背表紙 1万円
※裏表紙に広告掲載する人のみ掲載可



裏表紙内側

表紙内側

町の広報紙『紫波ネット』を2年間分つづることが出来る「つづり表紙」に、広告を掲載していただけるスポンサーを募集します。このつづり表紙は、4月中旬に町内全世帯へ配布予定です。料金税抜は左図のとおりです。詳しくはお問い合わせください。

■申込・問合せ

3月5日(木)まで
企画課 情報政策室
☎672-2111(内線3232)



市民活動のヒント「ゆいナビ」

ゆいっとサロンでは、利用者の皆さんから「イラストとかをチラシに入れたら人が集まってくれるかな?」「タイトルを少し変えてみたいなあ」など、チラシ作りについて相談を受けることがよくあります。そんなときに見ていただきたいのが、ゆいっとサロンの広報誌「ゆいナビ」。「ゆいナビ」には、活動をしている皆さんにとって役立つ情報を掲載しており、今回の誌面では、チラシのタイトル作りのポイントを紹介しています。

具体的には『人が集まる!行列ができる!講座、イベントの作り方』(著書:牟田静香 出版:講談社+α新社)から一部を抜粋して紹介しており、思わず手に取ってくれるようなタイトル作りのキーワードを簡潔に紹介してあります。チラシ作りで苦戦している人や、活動を広めようと考えている人には、ヒントになること請け合いです。

また、昨年のバックナンバーには「こんなファシリテーターはいやだ」というタイトルで、会議や打ち合わせのスムーズな進行のために欠かせない内容を載せてあります。いずれもオガールプラザ情報交流館1階の市民スタジオでご覧になれますので、一度手に取ってみてください。

市民活動支援センター ゆいっとサロン

開設・電話受付時間:午後1時~6時(月曜日休み)
☎676-2468
ブログ:ゆいっと気まぐれ日記



キャンペーン中に入校された方に
商品券5,000円分プレゼント!!

無料送迎バス運行中

キャンペーン期間 普通車教習料金

平成27年1月5日から《MT》277,000(税込)
平成27年3月末まで 299,160(税込)

対象車種:普通車(MT・AT) 《AT》263,500(税込)
対象者:高校生・専門学校生・大学生 284,580(税込)

岩手県公安委員会指定
紫波中央自動車学校 ☎0120-219-196
〒028-3304 紫波町二日町字西七久保6番1

こずかた診療所
内科・リハビリテーション科

■診療時間平日 9:00~12:00/13:30~17:30
■受付時間平日 8:30~11:30/13:15~17:00
■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもと看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1~5の認定を受けた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1~5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-67-1 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

「よりそいホットライン」では、どんなひとの、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決する方法を探します

ひとりで抱え込まずに、お電話ください。

フリーダイヤル つなく つつむ
0120-279-226

よりそいホットライン 被災地専用

24時間通話無料
秘密は守ります

一般社団法人社会的包摂サポートセンター
この事業は厚生労働省社会・援護局、及び、復興庁の補助金事業です

中央葬祭センター シンセラホール紫波

「しらゆり会員」募集中

特典

- 生花・盛籠(各種)1,000円割引
※税込21,000円以上の商品に限らせていただきます。
- 祭壇貸出料20%割引
- 通夜室使用料20%割引
- 仏具展示品10%割引
- 引き出物、返礼品10%割引

入会金 10,000円

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404

中古 クボタトラクター JB13
稼働時間92時間、平成20年式
1,080,000円

中古 平成15年 アテックスSL610
小型特殊車両・油圧ダンプ、積載量600kg、稼働時間587時間
800,000円

(株)マイタコーポレーション ☎019(697)3939
紫波郡矢巾町煙山17-78-1(古物商第211030000835号)



知って分かって?



紫波町が発祥の地である、酒造りのプロのことを何という? (ヒントは4~5ページ)

郵便はがきまたは電子メールで、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤答え⑥A今月号の『紫波ネット』のご感想/B特集記事についてのご要望/広報紙に対するご意見・ご要望のいずれかをご記入の上、ご応募ください。応募期限は**3月6日(金)**です。

〒028-3392 紫波町役場 企画課 情報政策室「おざらいクイズ」係

✉ joho@town.shiwa.iwate.jp

正解者の中から、抽選で図書カードをプレゼントします。

たくさんのご応募をお待ちしています!

● 役場新庁舎、早く見学に行きたいです。(赤沢地区・50代)

● 私は料理に興味があるので「次世代に伝えていこう地場の食文化」がとてもおもしろかったです。(古館地区・10代)

● 紫波中央駅前に越してきて9年。こんな魅力的な場所に住むことができ幸せです。図書館も近くて本当に便利。オガールの街並みも素敵です。これからのどのように完成されるのかとても楽しみです!(日詰地区・40代)



町長メッセージ

今年の消防出初式は1月4日であった。日詰商店街で、恒例の分列行進が堂々とい行われた後、ナックスの駐車場で約350人の消防団、婦人消防協力隊、紫波消防署員が整列する中で観閲を行った。士気の高さが充分に感じられた。

9日には、紫波町交通指導隊の初点検を行った。この日は晴天であったが、寒気も一段と厳しく、身の引き締まる思いであった。交通指導隊員22人が整列する中、服装、手帳、警笛、車両を点検した。交通指導隊は年末年始の初詣の交通整理に始まり、町の各種イベント、春には各学校に向向いての交通安全教室を行っており、町内での登下校時の重大事故の防止に貢献している。交通事故数は減少傾向にあるが、高齢者の事故には引き続き注意が必要である。

2月2日には、紫波町防犯員17人に委嘱状を交付した。防犯隊は毎月3回、青色回転灯車両による夜間の広報活動を行っているほか、小学校の見守りパト

ロールや夏まつり会場などの見回りも行っている。平成26年は、犯罪件数が8件と過去最少になっている。

町民の安全と安心の暮らしはこれらの皆様の活動に支えられているが、それぞれの組織の団員、隊員の確保には苦勞しているのが実情である。交通安全協会、交通安全母の会も同じ傾向にある。皆様のご協力があつて成り立っている組織である。

私は里山資本主義に啓発されている。山里に暮らしていると、倒木、小屋の廃材など、質を問わなければ薪となるものはいくらかでも手に入るため、例年になく暖かい生活をしていたが、1月に入り続けて薪ストーブの煙突の過熱が原因の火災が2件発生した。まだ寒さが続く2月である。薪ストーブに限らず、各家庭の暖房器具を、今一度点検していただくことを願います。メッセージとします。

熊谷 泉

50音電話帳 動画 音楽

あ い う え お
か き く け こ
さ し す せ そ
た ち つ て と

町内企業のホームページ掲載のWEB電話帳をご利用ください。
<http://shiwa.mobi>
☎676-2838

「地方創生」は地域企業活性化が実現します!
地域企業活性化は自らの情報発信が必要!

声の名刺をお作りします!
音声カタログお作りします!
音声ホームページお作りします!

月々1,000円~2,000円で作成!

名刺、カタログ、HPのサンプルは
<http://shiwa.tv>をご覧ください。

インターネット放送局SHIWA.TV
代表佐藤祐輔 (有) 佐藤時計店

☎676-2833 メール info@shiwa.tv

相心館 ゆう美容室

感謝祭 3月8日まで実施中

ゆう美容室として1年を迎えることができました事に心より感謝申し上げます

来店者にもれなくチョコクーポンプレゼント

メール会員になると、もっとお得な情報がゲットできます!携帯・スマホからアクセス!

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-32
TEL019-676-5825
E-mail yu@posh.jp

OPEN 8:40
CLOSE 18:30

古館駅
相心館 ゆう美容室
中興産科
ローソン たまり 産院
至花巻 4号線

紫波 冬まつり

真冬でも、おなかも心も
ぽっかぽか!!



吹雪の中の大熱戦! 雪合戦大会

まつりは午前9時、一昨年から同時開催している雪合戦大会でスタート。時折激しい雪が吹き荒れる中、町内と矢巾町の小学生5チームが、磨き上げた投球技術とチームワークで熱い戦いを繰り広げました。決勝戦は2年連続王者の銭形スパーキッズと古館スカイヤーズAの対決。第3セットを終え、ゲームは引き分けとなりましたが、1点の得失点差で、銭形スパーキッズが3度目の優勝を手に入れました。



子どもたちから繰り出されるスピード感あふれる雪玉と、タイミングを見計らったチームワークに会場が沸きました

IATの中継で訪れた
タレントのズギちゃん



すてきなオリジナルお鍋を出品してくれた(左から)紫波まちづくり企画、食道かわむら、View Garden、天狗寿司、あぐりちゃや、星山屋の皆さん。

町内6店舗が出店 初企画「鍋・なべ合戦」

雲の切れ間から青空がのぞいた11時から、大広間でのオープニングセレモニー。熊谷町長や来場した子どもたちが餅つきに参加し、つきたてのお餅が来場者に振る舞われました。また、同時にスタートした新企画「鍋・なべ合戦」では、町内6つの団体が、それぞれに地元食材をたっぷり使った自慢の鍋を提供。来場者は、各出品者の鍋をテーブルに並べ、冷えた体を温めながら、それぞれに工夫が凝らされた具材やスープを堪能し、最後はお気に入りの鍋に投票しました。こちらも甲乙つけがたい大接戦となり、開票の結果、初代チャンピオンは、あぐりちゃやの「牛ぎゅっともち鍋」に決定しました。

第10回紫波冬まつりは1月17日、ラ・フランス温泉館周辺地区をメイン会場に開かれました。町内外から約2600人が訪れ、紫波の冬ならではのイベントや味覚を堪能しました。

笑顔の花が咲いた 講談・落語公演

おなかを満たした後、続いて行われたのは、紫波町観光ガイドしゃべーの皆さんによる講談と桂枝太郎さんの落語。なかなか見る機会のない講談や落語ということで、会場いっぱい到大勢の人が訪れ、テンポのよい軽妙な語り口に、たくさんの方が笑顔が巻き起こりました。



紫波町には一昨年から住んでおり、四季折々にお祭りがあって、とてもいいなあと思います。今日はそりすべりと鍋・なべ合戦を楽しみに来ました。どのお鍋も具たくさんで、スープも濃厚でとてもおいしかったです!



萩 武士さん、実鈴ちゃん、和子さん(日詰)



みんなで陶器用粘土を使ってシェードを作りしました。色とりどりの灯りが雪に映えればいいなと思い、今年はLEDライトを使ってみました。家で飾っているときも「ばあば、すごいね!」と孫が大喜びしています。



JA女性部・水分ボランティア支部
菅原 和子さん(左)
鷹木るり子さん(右)



500もの^{ともしび}やさしい灯と冬花火

日が落ち始めた午後4時からはいよいよ夢灯り点灯。メイン会場のほか、日詰駅前、紫波中央駅前、オパールプラザ、古館地区の高水寺児童公園などで、町内20団体がそれぞれに用意した夢灯りに火をともし、温かいうそくの灯りや、テープやセロハンなどで色づけられた幻想的な光が会場を包み込んだほか、今年ならではの人気キャラクターなどの雪像も人気を集めていました。

そして、最後は冬の天花火。凜とした冷たい空気の中、幻想的な夢灯りに囲まれながら間近で打ち上げられる光の花々に、来場者からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。





素早くまっすぐに縁を取り付けていく阿部さん。1つ1つの工程をしっかりと重ねることで、より丈夫で長く愛される畳になる。



多様なニーズに合わせた美しい縁の数々



阿部真志さん
(連絡先 ☎672-4111)



畳職人専用の道具の数々。それぞれの位置を切るのに適した包丁がある。

情報求む！
あなたの身近な達人を
ご紹介ください

町は、皆さんの身近にある「これはすごい!」「みんなに広めたい!」という達人技や名人、職人、趣味人など、紫波の魅力として紹介したいと思う地域の方々(企業)の情報を募集しています。小さな情報でも構いませんので、ご連絡をお願いします。

【連絡先・問合せ】

〒028-3392 紫波町役場 企画課
情報政策室「紫波の達人」係
☎672-2111 (内線3232)
✉joho@town.shiwa.iwate.jp

シリーズ*行ってみよう
訪ねてみよう紫波の達人

日本ならではの 安らぎ空間づくり

畳職人 阿部真志さん

思わず寝転がりたくなってしまいうような、ほっとする自然の香り。昭和初期から続く製畳業を営む阿部たたみ店の工房には、いつも優しいイグサの香りがただよっています。一級畳技能士として、お店の看板を支えている阿部真志さん(40歳)は、このお店の4代目。「お客さんに気持ち良く過ごしてもらえるように」という思いを込めながら、3代目の廣さんと若手従業員2人と共に、日々、畳作りに精を出しています。

畳作りは、大きく分けると畳床作りとござ貼りの2段階。専門業者で作られることも多い畳床も、阿部たたみ店では自前で製作しています。現在はわらの代わりにも木質ボードを使用したものが主流ですが、昔ながらの製法で作る場合には「できるだけ地元産のものを」と大巻産のわらを使用して作られています。断熱材とわらを重ねて縫い合わせた畳床は、部屋の造りに合わせて裁断し、表にござを縫

い付けます。ござは、イグサ農家の手によって作られるため、選び方には畳屋さんの目利き能力が必要です。「1本1本が長く、実の充実したイグサがふんだんに使われているござが、目も締まっていて厚みもあります」と、阿部さんはコツを語ります。フローリング住宅が広まる現在、畳の張り替えなどの需要は減少傾向にありますが、縁なし畳や色付畳など、新たな需要も生まれています。「畳には、空気の浄化作用や吸放湿性、弾力性など、良いところがさまざまあります。特性を知った上で、多くの人の暮らしに取り入れてもらい、畳を『伝統』ではなく『日常』にあるものにしていければ」と阿部さん。所属している県の畳組合青年部では近年、保育所などへの寄贈活動をしており、「子どもたちから畳に触れてもらい、日本の良いものを未来に引き継いでほしいなと思います」と穏やかに願いを込めていました。